

# 磯の朝風

青木進太郎



私が好きな花菖蒲は、肥後系のものだ。肥後系はその名の通り、肥後藩の藩主である細川氏の名によって作られた、そのため、城内の床の間などに生けるための物である。高貴な人々が、鑑賞し楽しんでいたので。江戸系や伊勢系にはない、堂々とした雰囲気を持っているため、一輪でもそこにあるだけで、人々の心を感動させる、圧倒的な存在感を醸し出している。その中でも**磯の朝風**は、私の心を最も突き動かした。なぜかという、その名前が私にとっての青春を彷彿とさせるからだ。私は高校生の時に、部活の仲間達と意味もなく海岸へ朝日を見に行っていたことがある。私は、あの朝日ほど美しいもの見たことはない。あのとき嗅いだ、磯の香りは私の人生にとって、特別な香りである。**磯の朝風**という名前だけで、この思い出が頭に思わずよぎってしまった。また、これは私の勝手な想像だが、磯の朝風は見て分かる通り、紫と白のグラデーションこそ潮の満ち引きを感じさせるため、このような名前となったのだと考える。